

輪切りレモンを用いた新サルモネラ検出法

翠川 裕¹ 岸本 和恵¹ 竹中 裕美子¹ 牧野 祥子¹ 中村 哲²鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部 医療栄養学科¹ 国立国際医療センター²

サルモネラをDHL培地一面に接種し、輪切りにしたレモンを培地表面にのせたうえで、18時間35で培養した。18時間の培養後に輪切りレモンの外皮の外側には、4 - 5mmの厚さの硫化水素によって三価の鉄が還元された硫化鉄の黒色のバンドを認めた。さらに、輪切りレモンの下の部分は桃色に変化していた。DHL培地を用いて、シトロバクターやプロテウスといった同様に硫化水素を産生する菌で試してみたが、これらの菌ではサルモネラの時のようにはくっきりとした黒色の帯を認めることができなかった。この現象は、サルモネラにのみ特異的に観察されたので、サルモネラをスクリーニングするための新しい方法の手がかりとなるのではないかと考えられる。

A new screening method for *Salmonella* using lemon slices

YUTAKA MIDORIKAWA

Suzuka Universitu Medical Science, Suauka, Japan